

万葉の響

プログラム

第一部 瑞の魅力

中国音紀行II / 伊藤 慶佑 (編曲)

協奏的二重奏曲

ヴィルヘルム・ベルンハルト・モーリック

譚 歌 / 水野 利彦

～ 若手作曲家

河副 功・伊藤 慶佑とともに ～

第二部 万葉の響 ～染織家 飯森よしえ氏の 万葉衣裳をまとい～

うたのこと (世界初演) / 伊藤 慶佑

箏のための「曙の嶺」^{あさけのみね} ～梅花の歌序文を基とした～

三重奏のための〈近江の万葉〉 (両曲とも 世界初演)

/ 河副 功

出演 < 瑞 >

Flute 田 呈媛

Violin, Viola 藪野 巨倫

箏・十七絃 麻植 理恵子

< 司会 > 中山 登志子

ロビーにて染織家 飯森よしえ氏の
万葉衣裳などの展示をお楽しみ頂けます。



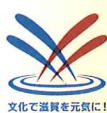
2021. 3. 7 (日)

14時開演 13時30分開場

滋賀県立文化産業交流会館 小劇場

 滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

 beyond
2020

 文化で滋賀を元気に!

主催：滋賀県立文化産業交流会館 / 麻植美弥子

後援：滋賀県教育委員会、草津市、米原市、草津市教育委員会、彦根市教育委員会
長浜市教育委員会、米原市教育委員会

チケット発売

12月12日(土)10時より

入場料 [全席指定]

一般：2,000円 / 青少年(25歳未満)：1,000円

*1歳以上入場可 (ただし、チケットは1,000円が必要)

*当日券は各500円増し (残席がある場合のみ販売します)

○ チケット取り扱い、お問い合わせ先 TEL 0749-52-5111

[滋賀県立文化産業交流会館] 住所 米原市下多良2-137
(窓口販売のみ) (毎週 月曜休館 * 休日の場合はその翌日)

[びわ湖ホールチケットセンター] (現金・窓口販売のみ)

TEL : 077-523-7136 (10:00-19:00 火曜日休館 * 休日の場合は翌日)

[ローソンチケット] Lコード : 52684

瑞-Zui-コンサート

—若手作曲家 河副功・伊藤慶佑とともに—

「万葉の響」

プロデュース 麻植 美弥子(おえみやこ)

3歳より箏を始める。長谷校校記念全国邦楽コンクール優秀賞、京都芸術祭芸術祭賞、平和堂財団芸術奨励賞など受賞歴多数。イタリア、フランス、中国などの海外公演で好評を博す。福井大学教育学部非常勤講師。ムジカA国際音楽協会常任理事。



Flute 田呈媛(てん でいえん)

中国・瀋陽出身。2018年京都市立芸術大学大学院博士課程を修了、博士号(音楽)を取得。博士論文『中国における西洋音楽受容の歴史—北京と東北地方の西洋音楽職人を中心に—』をまとめる。2011年、同大学大学院賞受賞。これまで『中国長笛物語』と『和結瑠華』のCDをリリース。音楽を通した様々な文化交流活動に積極的に取り組み国際交流と地域連携のため、心のつながりの架け橋になることを目指している。



Violin, Viola 葦野 巨倫(やぶの きりん)

京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了、及び修了時に大学院市長賞受賞。在学中派遣交換留学奨学生に選出され、ドイツ・フライブルク音楽大学留学。第14回大阪国際音楽コンクール入選。新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズ大阪第25回にてソリストとして日本センチュリー交響楽団と共演。現在関西を拠点にヴァイオリン奏者・ヴィオラ奏者としてジャンルを問わず幅広く活動を展開する傍ら、後進の指導にも熱心に取り組んでいる。



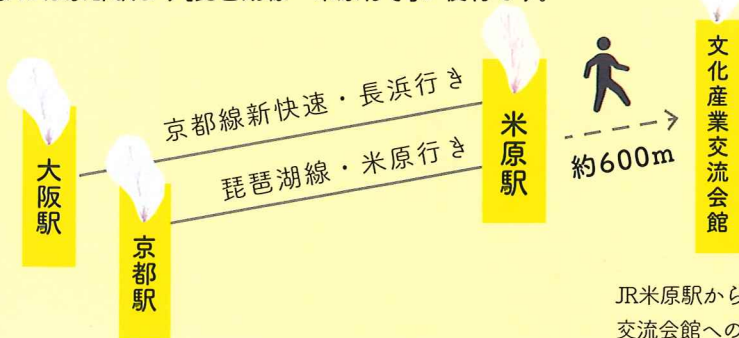
箏・十七絃 麻植 理恵子(おえ りえこ)

箏を幼少より麻植美弥子、現在、深海さとみ氏に師事。(一社)京都當道会師匠。国立滋賀大学教育学部卒業。NHK邦楽オーディション合格。(公財)滋賀県文化振興事業団「ザ・ファーストリサイタル2007」合格。第32回京都芸術祭音楽部門奨励賞等受賞多数。現代曲の初演も多く、国内外で演奏活動を展開。アウトリーチ活動にも力を入れている。共同研究「箏ワークショップさくらリレー麻植方式」発表。CD「十七絃箏」リリース。

会場へのアクセス

[滋賀県立文化産業交流会館] 米原市下多良2-137
JR米原駅より徒歩約7分

JR米原駅へは、
大阪駅/京都駅より直通的[京都線新快速・長浜行き]
または京都駅より[琵琶湖線・米原行き]が便利です。



JR米原駅から文化産業交流会館への道のり

皆さまと一緒に、「瑞」が奏でる
新しい音楽世界を楽しみたいと思います。

麻植 美弥子

滋賀は、わずか五年という短い期間ではありましたが天智天皇が大津京を開かれ、万葉集にも近江が数多く詠まれるなど、歴史と文化の香る素晴らしいところですよ。

万葉集の監修は、元立命館大学教授・真下厚氏にお願いしました。

フライヤーデザインは若手のデザイナーにお願いするなど次世代担う方たちの可能性を後押しする思いを込めた企画です。

幸福の兆しという意味を持つ「瑞」はフルート 田呈媛、ヴァイオリン 葦野巨倫、十七絃 麻植理恵子の三人のグループで、日・中・洋の多様な音楽世界を持ち、常に新しい扉を拓き続けている注目のトリオです。

飯森よしえ氏の万葉衣裳をまとい、瑞が奏でる「万葉の響」と題した若手作曲家による世界初演二曲が見所、聞き所です。



作曲 河副 功(かわぞえ いさお)

滋賀県在住。京都市立芸術大学作曲専攻を卒業後渡仏、エコールノルマル音楽院、セザンヌ市立音楽院にて作曲を学ぶ。これまでに作曲を中村典子、E. ルジェ、V. ドックレー、松本日之春、前田守一、清水幸子の各氏に師事。



作曲 伊藤 慶佑(いとう けいすけ)

三重県生まれ。京都市立芸術大学音楽学部卒業。岡田加津子、中村典子、酒井健治の各氏のもとで作曲を学んだ。近年は東洋の古典、思想をもとに創作をおこなう。

万葉集監修 真下 厚(ましも あつし)

立命館大学文学研究科博士課程修了。博士(文学)。元立命館大学教授。著書に『万葉歌生成論』(三弥井書店)『声の神話』(瑞木書房)、『京都の伝説』(共著、淡交社)『歌の起源を探る 歌垣』(共編著、三弥井書店)、『古事記の起源を探る 創世神話』(共編著、三弥井書店)など。

万葉衣裳 飯森 よしえ(いいもり よしえ)

草木染めに魅せられ、40年近く、あらゆるジャンルに挑戦しながら染めと織りを主体に歩む。万葉オペラ「大津京逍遙」の衣裳を草木染めで制作。以後、舞台衣裳・美術も手がける。染織工房「絲紫野工房」を主宰。



フライヤーデザイン: 宗接花葉